

パスタのあとは、北沢川緑道分岐点へ（2006年5月）

耐震偽装事件で氣勢を削がれていたが、急に現実味を帯びてきた、娘のマンション探し。8月の誕生日までには決着をつけたいと言い出したのである。まずは情報交換ということで、連休中一度、東京で食事でもしながら話そうという予定が、連れ合いの都合がつかず、結局二人で「F」へ行くことになった。「F」は私の姪夫婦でやっている三宿のイタリアレストランで、開店して25年経つというから早いものである。娘とは渋谷のハチ公前3時の待ち合わせだった。その人出たるや半端でなく、5分ほど歩き回るが、探すのは至難。携帯で確かめあうと、ほんの数メートルのところに立っていたことがわかる。デパートのカフェで近況報告後、Fへは池尻大橋駅から歩いて、開店の4時半には到着。夫婦だけでやっている、20人も入れば満席というコンパクトな店だが、シェフのご主人は、無口だが腕はたしかで、おいしい。価格もリーズナブルで、常連が多いという。常連でもある近くのタレントやコメンテーターらが友達をつれて来たりするらしいが、何度かのマスコミ取材の申し込みも一切お断りという頑なな夫婦でもある。

私たちがきょうの最初の客であったが、30分しないうちに4つのテーブルは満席。簡単に夕食を済ませて帰ってゆくカップルや家族連れ、カウンターで席が空くのを待つ人もいる。それでも、一番奥の5人は座れるテーブルでゆっくりさせてもらい、温野菜のサラダ、海鮮のオードブル、海鮮パスタ、ミラノ風カツレツ、きのこのピザ、白ワイン、デザートを堪能、カプチーノでしめくくる。ワインと珈琲はサービスと言うことで、お土産なしで飛び込んで、申し訳ないことだった。帰りがけには、地図つきで、緑道の散策路を教えてもらう。店の裏手には、最近整備されたという人工のせせらぎと植樹が続く。両脇はほとんどマンションが立ち並ぶが、日の暮れかかった散策路は都心とは思えない静かさである。北沢川緑道と烏山緑道の分岐点を過ぎてまもなく、地図にも書き込んでくれたカルガモの親子が見られるかもしれないというあたりか、立ち止まる人たちがいる。近寄ればつがいのカルガモが草陰にひそんでいるではないか。コガモはすでにお休みかもしれない。お父さんも来ればよかったのにと、二人の口をついて出る言葉。こんなところのマンションもいいね、と気楽なことをいいながら、いくつ目かの角を右に折れると、池尻大橋駅の少し渋谷寄りになる。駅まで少し戻って、娘とは反対方向で渋谷へ向う。肝心のマンションの情報は各論には至らなかったけれど、あたらしい散策路も発見できた一日となった。